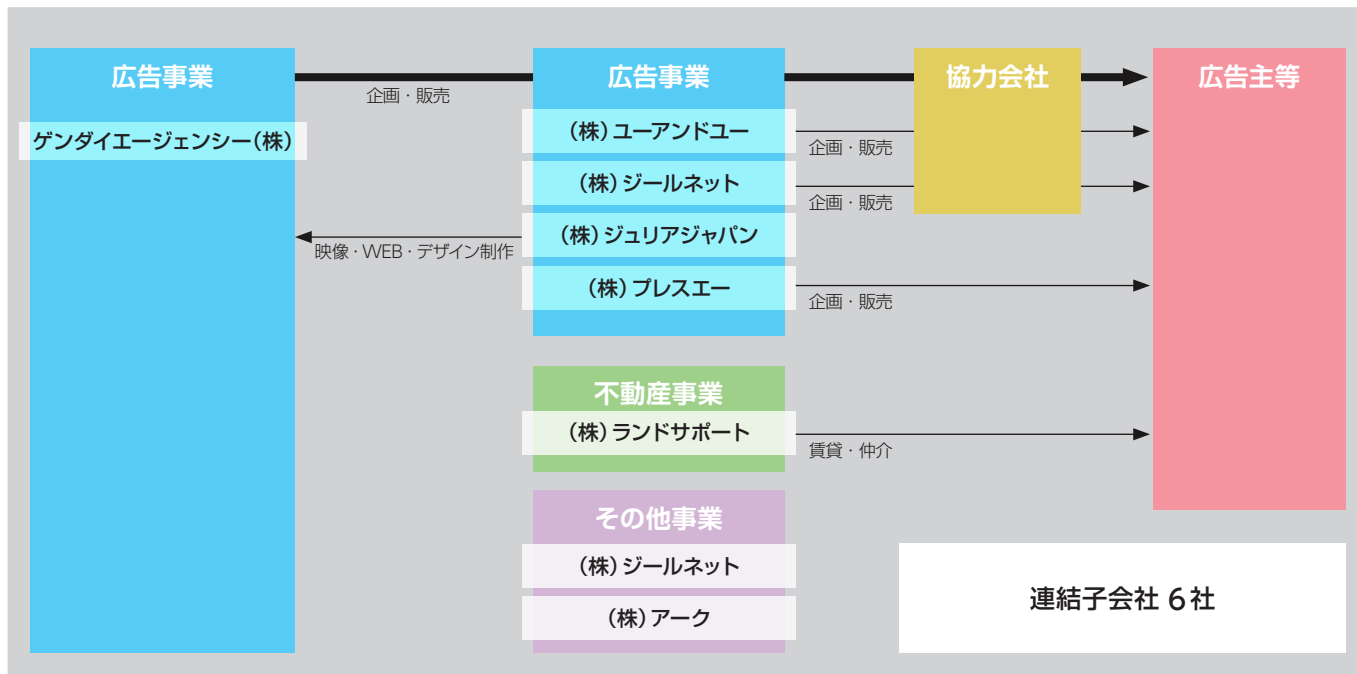


株主通信

2022年3月期 第2四半期

2021年4月1日～9月30日

ゲンダイエージェンシー株式会社



1. 広告事業

ゲンダイエージェンシー(株)

店舗施設への集客を主軸とした広告事業。折込広告、販促物、媒体などの企画制作

(株) ユーアンドユー

通信販売会社等を主要クライアントとする広告事業。広告の企画制作、媒体枠販売

(株) ジュリアジャパン

各種映像制作、ウェブ制作などの企画制作

(株) ジールネット

広告等の企画制作

(株) プレスエー

フィットネス施設向け送客支援メディアの運営

2. 不動産事業

(株) ランドサポート

パチンコホールをはじめとした不動産の賃貸、仲介

3. その他事業

(株) ジールネット

(株) アーク

基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

グループ経営指針

1. 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略実現のパートナーとして、信頼される企業を目指します。
2. 私達は、広告事業の枠にとらわれない、新しいビジネスモデルやツールの開発に挑戦し続けます。
3. 私達は、常に真摯な姿勢と熱意をもって、最良なサービスの提供に努めます。

株主の皆様へ



代表取締役 CEO 山本 正卓

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、2022年3月期第2四半期連結累計期間のご報告を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症拡大が依然として収まらず、個人消費や経済活動が大きく制限されるなど厳しい状況にありました。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては感染拡大に伴い、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出が常態化したことにより、施設利用者の来店自粛や、集客を目的とした広告宣伝が自粛される傾向にあり、広告需要は低調に推移いたしました。また、パチンコホール以外の広告分野において、現在力を入れているフィットネス施設についても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は大きく、広告需要は低迷いたしました。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、パチンコホール以外の顧客開拓、取引深耕を推進し、収益の底上げに向けた取り組みを進めてまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,536百万円(前年同期は3,131百万円)、営業利益は76百万円(前年同期は344百万円の損失)、経常利益は85百万円(前年同期は344百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は36百万円(前年同期は362百万円の損失)となりました。

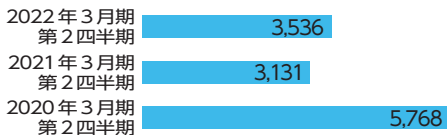
以上の経営成績をふまえ、1株当たりの中間配当金は3円とし、お支払い開始日は2021年12月6日(月)とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2021年12月

※第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)などを適用しています。これに伴い、代理人取引と判断される一部の取引について、その売上高の計上額を、これまで取引総額であったものから、純額へと変更しています。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高については、従来の計上方法(取引総額)と比較して、370百万円減少しています。よって、当第2四半期連結累計期間における経営成績などに関する説明は、売上高については前第2四半期連結累計期間と比較しての増減額および前年同期比(%)を記載せずに説明しています。

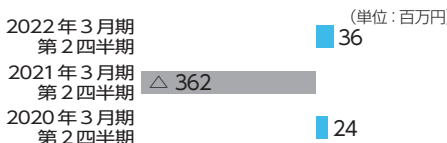
● 売上高（連結）（単位：百万円）



● 経常利益（△は損失）（連結）（単位：百万円）

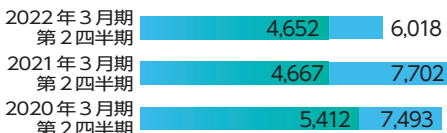


● 親会社株主に帰属する四半期純利益（△は損失）（連結）



● 総資産額／純資産額（連結）

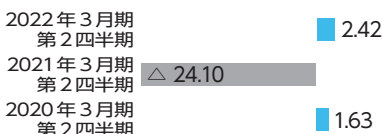
純資産額 ■ 総資産額 ■ （単位：百万円）



● 1株当たり純資産額（連結）（単位：円）



● 1株当たり四半期純利益（△は損失）（連結）（単位：円）



広告事業

当第2四半期連結累計期間におけるパチンコホール広告市場は、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発出が常態化し、積極的な広告出稿は控えられる傾向にあったものの、前年同期にあった緊急事態宣言に基づく休業要請はなく、パチンコホール施設自体の営業は継続して行われていたことから、店内告知物やインターネット広告などにおいて、一定の受注を確保できました。しかしながら、コロナ禍以前の広告需要回復までには至らず、引き続き厳しい事業環境にあります。また、フィットネス施設広告においても同様に、広告需要は低調に推移いたしました。

こうした環境下において、当社グループでは、新規業種の顧客開拓を推進いたしました。また、連結子会社(株)ユーアンドユーにおいて、主力である通販広告以外の新分野における広告受注は、引き続き順調に増加しております。さらには、2021年3月に株式取得した(株)プレスエーの運営するフィットネス情報サイト「IDEAL」についても堅調に推移し、低迷するフィットネス広告分野における業績の下支えとなりました。

その結果、売上高は3,499百万円(前年同期は3,101百万円)、セグメント利益は200百万円(前年同期は174百万円の損失)となりました。

不動産事業

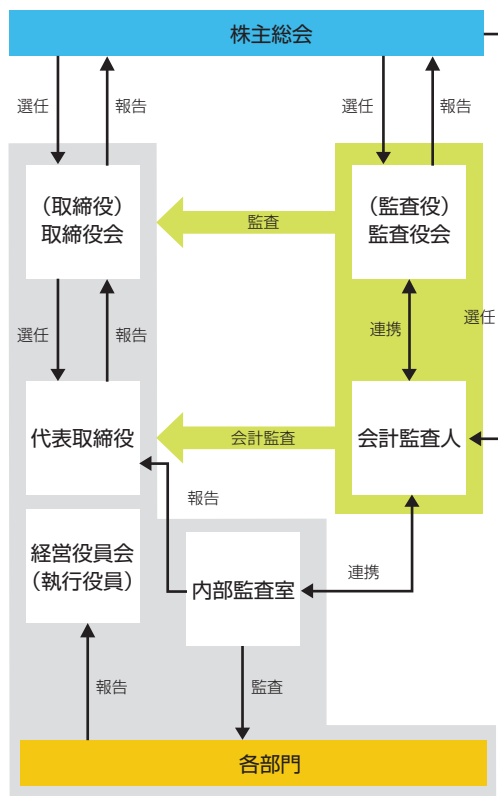
当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社(株)ランドサポートが所有する千葉県柏市の土地の賃貸収益のほか、賃貸仲介物件の引き渡しなどに伴う手数料収益5百万円の計上がありました。

その結果、売上高は30百万円(前年同期は25百万円)、セグメント利益は15百万円(前年同期は5百万円の利益)となりました。

その他

当第2四半期連結累計期間においては、キャンピングカーレンタル事業などによる売上高は6百万円(前年同期は3百万円)、セグメント利益は0百万円(前年同期は5百万円の損失)となりました。

コーポレート・ガバナンス



基本的な考え方

当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性(コンプライアンス)と透明性(ディスクロージャー)を確保しながら、常に株主の皆様の利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少人数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。

配当政策、トピックス

配当政策

当社は、今後のさらなる事業拡大を図るために必要な投資原資として、内部留保を充実させると同時に、これまでの経営活動の成果を株主の皆様へ明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施し、中長期的な株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。

目標とする連結配当性向は、キャッシュ・フローの状況などを勘案し、当面50%を目安として考えております。さらに資本効率の向上を重視し、適切なタイミングで自己株式の取得を実施してまいります。

2022年3月期の間配当金は、上記の基本方針をふまえ、1株当たり3円とさせていただきました。

なお、期末配当予想は4円とし、1株当たり予想年間配当金は7円(予想配当性向46.8%)を予定しております。

トピックス

自己株式の取得状況について

株主還元の一環として、2021年7月16日開催の取締役会にて、自己株式取得に係る事項について決議し、取得を実施しております。

●取得に係る事項の内容

取得対象株式の種類……………当社普通株式
取得しうる株式の総数……………1,500,000株(上限)
株式の取得価額の総額……………450,000,000円(上限)
取得期間……………2021年7月19日から2022年3月24日まで
取得方法……………東京証券取引所における市場買付

●上記に基づきこれまで取得した

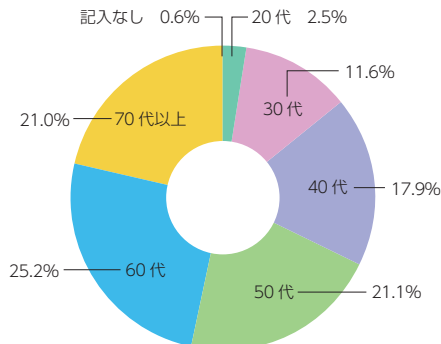
自己株式の累計(2021年9月30日現在)

買付株式数……………321,000株(取得上限に対する割合21.40%)
買付総額……………108,382,600円(取得上限に対する割合24.09%)

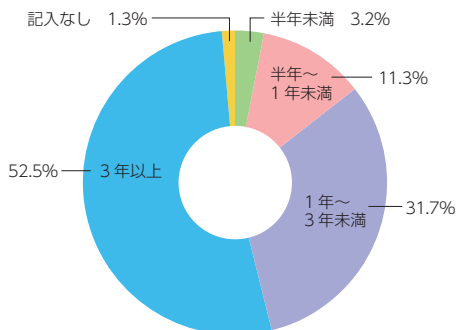
アンケート結果のご報告

回答者属性

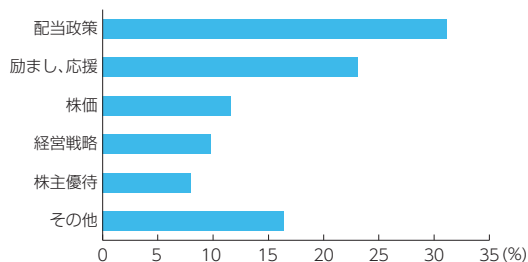
年代



保有期間



ご意見・ご要望の傾向 (フリーコメント)



2021年3月期 株主通信アンケートより

当社は、株主の皆様とより一層のコミュニケーションを図るため、株主アンケートを行っております。前回の2021年3月期株主通信でお願いいたしました株主アンケートには、多くのご回答をいただき厚くお礼申し上げます。頂戴した貴重なご意見は、今後の経営に役立てるとともに、IR活動の参考にさせていただきます。

今後も、株主の皆様のご意見、ご要望を頂戴したく、アンケートを実施してまいりますので、その際はどうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

主なご意見・ご要望 (フリーコメント)

- 厳しい経営環境だとは思いますが、なんとか復配できるよう、新たな収入源など開拓していただきたいと思います。応援しております
- 企業価値について自己資本比率が高いのですが、今後、デジタル戦略と絡めた将来ビジョンを数値化で示してほしい
- 株主還元を積極的に行ってほしい。コロナ禍で事業を見直して、より収益性のある事業へシフトしてほしい
- 上場以来ずっとホールドしています。今後も安定的な収益獲得に努めてくださるよう期待しています

今後も、皆様からいただいたご意見を活かしながら、より良い会社経営に取り組んでまいります。

第2 四半期財務諸表

第2 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区分	当第2 四半期 連結会計期間 (2021 年 9 月 30 日現在)	前連結会計年度 (2021 年 3 月 31 日現在)
資産の部		
流動資産	4,871	5,145
現金及び預金	3,648	3,808
受取手形及び売掛金	-	973
受取手形、売掛金及び契約資産	875	-
有価証券	250	253
未収還付法人税等	-	13
その他	98	98
貸倒引当金	△ 1	△ 1
固定資産	1,146	1,165
有形固定資産	593	599
無形固定資産	106	111
投資その他の資産	446	454
① 資産合計	6,018	6,310
負債の部		
流動負債	1,179	1,264
買掛金	447	501
1 年内返済予定の長期借入金	525	575
未払法人税等	56	39
その他	151	148
固定負債	186	323
長期借入金	150	287
資産除去債務	8	8
その他	27	27
② 負債合計	1,365	1,588
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,062	1,062
利益剰余金	2,944	2,908
自己株式	△ 108	-
株主資本合計	4,649	4,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	0
その他の包括利益累計額合計	2	0
③ 純資産合計	4,652	4,722
負債純資産合計	6,018	6,310

第2 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

区分	当第2 四半期 連結累計期間 (自 2021 年 4 月 1 日 至 2021 年 9 月 30 日)	前第2 四半期 連結累計期間 (自 2020 年 4 月 1 日 至 2020 年 9 月 30 日)
④ 売上高	3,536	3,131
売上原価	2,533	2,408
売上総利益	1,003	722
販売費及び一般管理費	927	1,067
④ 営業利益又は営業損失 (△)	76	△ 344
営業外収益	12	10
営業外費用	3	10
経常利益又は経常損失 (△)	85	△ 344
特別損失	4	-
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失 (△)	80	△ 344
法人税、住民税及び事業税	46	18
法人税等調整額	△ 1	△ 0
法人税等合計	44	18
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	36	△ 363
非支配株主に帰属する四半期純損失 (△)	-	△ 0
④ 親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	36	△ 362

① 資産合計

主に現金及び預金が160百万円、受取手形、売掛金及び契約資産(前年は受取手形及び売掛金)が97百万円、それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して292百万円減少の6,018百万円となりました。

② 負債合計

主に長期借入金(1年内返済予定含む)が187百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して222百万円減少の1,365百万円となりました。

③ 純資産合計

親会社株主に帰属する四半期純利益36百万円を計上する一方で、株主還元として自己株式取得108百万円を実施したことなどにより、前連結会計年度末と比較して69百万円減少の4,652百万円となりました。

④ 売上高・営業利益・四半期純利益

当グループでは主力の広告事業において、パチンコホール以外の顧客開拓、取引深耕を推進し、収益の底上げに向けた取り組みを進めてきました。これらの取り組みは一定の成果が得られ、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,536百万円(前年同期は3,131百万円)、営業利益は76百万円(前年同期は344百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は36百万円(前年同期は362百万円の損失)となりました。

※ 第1四半期連結会計期間より、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)などを適用しています。これに伴い、代理人取引と判断される一部の取引について、その売上高の計上額を、これまで取引総額であったものから、純額へと変更しています。その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高については、従来の計上方法(取引総額)と比較して、370百万円減少しています。よって、当第2四半期連結累計期間における経営成績などに関する説明は、売上高については前第2四半期連結累計期間と比較しての増減額および前年同期比(%)を記載せずに説明しています。

⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー

主として税金等調整前四半期純利益80百万円を計上したことなどにより146百万円の収入(前年同期は273百万円の支出)となりました。

⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー

主として固定資産取得による支出が22百万円あった一方で、敷金及び保証金の回収による収入が5百万円あったことなどにより12百万円の支出(前年同期は37百万円の支出)となりました。

⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主として長期借入金の返済による支出が187百万円、自己株式の取得による支出が108百万円あったことにより295百万円の支出(前年同期は1,347百万円の収入)となりました。

第2四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	36	△ 363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	2
その他の包括利益合計	2	2
四半期包括利益	38	△ 361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	38	△ 360
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△ 0

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)	前第2四半期 連結累計期間 (自 2020年4月 1日 至 2020年9月30日)
⑤ 営業活動によるキャッシュ・フロー	146	△ 273
⑥ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 12	△ 37
⑦ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 295	1,347
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△ 5
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 160	1,030
現金及び現金同等物の期首残高	3,802	4,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,642	5,076

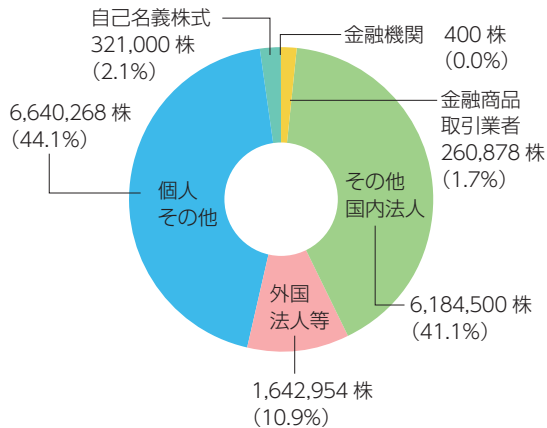
株式の状況

< 2021 年 9 月 30 日現在 >

株式の状況

発行済株式総数 15,050,000 株
株主数 6,034 人

所有者別株式分布状況



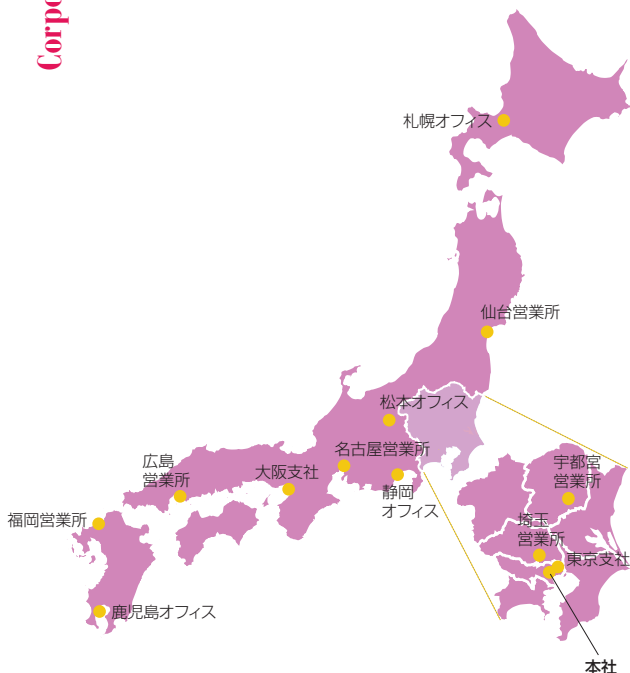
大株主

株主名	持株数(株)	%
1 GAキャピタル株式会社 ^(注2)	5,244,000	35.60
2 BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND 常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行	850,000	5.77
3 ジャパンプリント株式会社	480,000	3.26
4 内藤 征吾	418,300	2.84
5 梅田 美智子	359,400	2.44
6 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部	350,000	2.38
7 山本 正卓	322,400	2.19
8 完山 敏錫	320,000	2.17
9 岡 秀朋	151,800	1.03
10 光岡 巖	132,000	0.90

(注) 1. 上記大株主の欄には、当社が所有する自己株式を除いております。当社は自己株式を 321,000株所有しており、発行済株式総数に対する割合は2.13%であります。

2. アセット・マネジメント・アドバイザーズ株式会社は、2021年9月 24日付で、GAキャピタル株式会社へとその商号を変更しております。

会社情報



会社概要

< 2021年9月30日現在 >

商号	ゲンダイエージェンシー株式会社 (GENDAI AGENCY INC.)
本社所在地	〒163-1429 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 29F TEL: 03-5308-9888 (代表)
設立	1995 年 4 月
資本金	7 億 5,159 万 1,776 円
発行済株式総数	15,050,000 株
業務内容	広告、宣伝に関する企画および制作
事業所	●本社 ●全国 12 営業拠点 (札幌、仙台、東京、宇都宮、埼玉、松本、 名古屋、静岡、大阪、広島、福岡、鹿児島)
連結子会社	(株) ランドサポート / (株) ユーアンドユー / (株) ジュリアジャパン / (株) ジールネット / (株) アーク / (株) プレスエー

役員一覧

< 2021年9月30日現在 >

代表取締役 CEO	山本 正卓
代表取締役 COO 兼 CCO	上川名 弦
取締役 CFO	高 秀一
取締役 CIO	木藤 友治
取締役 営業企画開発部長	大島 克俊
取締役 (社外)	金本 かすみ
取締役 (社外)	田坂 正樹
常勤監査役	安達 吉明
監査役 (社外)	東 徹
監査役 (社外)	高野 健二
監査役 (社外)	田中 公仁郎

IR情報は当社のウェブサイトでもご覧いただけます



<http://www.gendai-a.co.jp/>

ゲンダイエージェンシー株式会社

東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティビル 29F
TEL: 03-5308-9888 (代表)

株主メモ

事業年度	毎年 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで
定時株主総会	毎年 6 月
基準日	定時株主総会 3 月 31 日 期末配当金 3 月 31 日 中間配当金 9 月 30 日
一単元の株式数	100 株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目 4 番 5 号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社
同事務拠点	三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町 1-1 0120-232-711
(同送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第 29 号 三菱 UFJ 信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	(株) 東京証券取引所 JASDAQ 市場
公告方法	電子公告 ただし電子公告によることができない事故その他のやむをえない 事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。

公告掲載 URL<http://www.gendai-a.co.jp/>

- (ご注意)
- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種
お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座
管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口
座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。
株主名簿管理人(三菱 UFJ 信託銀行)ではお取り扱いでき
ませんのでご注意ください。
 - 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつしまし
ては、三菱 UFJ 信託銀行が口座管理機関となっております
ので、上記特別口座の口座管理機関(三菱 UFJ 信託銀行)
にお問い合わせください。なお、三菱 UFJ 信託銀行全国各
支店にてもお取り扱いいたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱 UFJ 信託銀行本支店で
お支払いいたします。

